

2021 年度前期における「学生による授業評価アンケート」に対するコメント

2021 年度前期における「学生による授業評価アンケート」の実施に際しましては、ご協力いただいた学生の皆様並びに非常勤講師の皆様、専任教員の皆様に感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の収束が見えない状況下においてはじまりました 2021 年度前期でしたが、前期期間中に 2 回の緊急事態宣言が発出されることとなりました。したがって、この期間はほぼ全科目において遠隔授業となり、大きな影響を受けることとなりました。しかし、昨年度から繰り返されるこうした事態に対して、学生も教員も適切に対応することができるようになってきており、対面授業と遠隔授業をうまく切り替えながら前期を終了することができました。これもひとえに、学生の皆様並びに非常勤講師の皆様、専任教員の皆様の並々ならぬ工夫と努力の賜物でございます。感謝申し上げます。

さて、2021 年度前期における「学生による授業評価アンケート」の全体の結果を概観していくことにいたしますが、コロナ禍において、対面授業と遠隔授業を繰り返しながら実施された、こうした環境下における授業に対する評価であることをご理解いただきたく存じます。

そして、もう 1 つ最初にお断りしておかなければならないことがございます。それは、回答率が 5 割を切ってしまったことです。昨年度の後期から、新型コロナウイルス感染症に対する感染予防対策の一環として、紙媒体を用いてのアンケートの実施から、UNIVERSAL PASSPORT の授業アンケート機能を用いての実施へと、実施方法を変更いたしました。おそらく、こうした実施方法の変更が大きな要因となり、回答率が低下し、今期も回復させることができなかったものと思われまます。WEB を利用しての授業評価アンケートの回答率は低いと一般的に言われていますが、現在、FD・SD 委員会において、WEB を利用した方式であっても、回答率を保てる方策を検討しておるところでございます。

回答率が 5 割を切っていることから、結果の解釈には慎重であるべきことを踏まえて、以下に今年度前期における全体的な特徴を述べていくこととします。まず A 領域の「あなた自身について」ですが、③の学習時間を除く、①から⑥すべての項目において「1 そう思う」と「2 ややそう思う」を合わせたポジティブな反応が 6 割以上となっておりました。「4 あまりそう思わない」と「5 そう思わない」を合わせたネガティブな反応は、すべて 1 割を切っていました。こうした結果から、学生の皆さんの学修状況に対する認識としては、「授業の出席率は非常に高く、尚且つ、授業には積極的に参加したということ、そして、受講生の多くは授業で学修した領域をさらに深く学びたいと思うようになり、シラバスに掲げられている到達目標を達成できそうだと感じている」、こうしたことから、授業全般に対する満足度も高いものになっていました。アンケート結果からはこのようなことが推測されます。

次に、B 領域の「授業や教員の教え方について」ですが、⑦から⑩のすべての項目において「1 そう思う」と「2 ややそう思う」を合わせたポジティブな反応が 5 割以上となってお

りました。「4 あまりそう思わない」と「5 そう思わない」を合わせたネガティブな反応は、⑧は14%、⑨で11%でしたが、その他はすべて1割を切っていました。こうした結果から、学生の皆さんの教員の教え方に対する認識としては、「教員は学習目標を伝え、個々の受講生の理解度にある程度気を配りながら、授業に集中できるようにある程度教室をコントロールし、質問にもある程度応じていた」、アンケート結果からはこのように認識していたことが推測されます。

こうした傾向は昨年同様であり、大変好ましい結果といえ、まとめると「授業中において、受講生は積極的に集中して取り組み、到達目標を達成できそうな程度に学修できており、さらに学んでいきたいと思っている」、そして「教員は受講生が学習しやすい環境を整えている」、本学の学生はこのような認識を持っていることが推測されます。

しかし、昨年同様、大きな課題が解決されないままにあることが見えてきました。それは、受講生が予習や復習に費やした時間が少ないということです。学修者本位の教育が展開されていくためには、授業の質の向上とともに、受講生が授業時以外でも主体的に積極的に学修していく必要があります。したがって、授業時以外でも学生が主体的に学修していくことができるための授業作りとそのための学生支援の在り方を検討していくことが、我々教員に求められている重要な課題といえます。対面授業と遠隔授業を繰り返しながら実施しているという状況下で、受講生の主体的な学修を引き出す工夫を行っていくことはかなりの難題だといえます。しかし、受講生との丁寧な対話を続けていくことによって、この課題の解決をめざしていきたいと思っております。ご理解とご協力のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

FD・SD 委員会委員長 須河内 貢

授業評価アンケート

2021年度 前期

授業コード：

授業科目名： 全体

受講者数： 13620名

担当教員名：

回答者数： 5908名

学科	人間科学部 社会福祉学科 1059	人間科学部 医療福祉学科 介護福祉専攻 25	人間科学部 医療福祉学科 視能訓練専攻 560	人間科学部 子ども教育学科 1058	人間科学部 健康心理学科 411	人間科学部 医療心理学科 臨床発達心理専攻 131	人間科学部 医療心理学科 言語聴覚専攻 49	人間科学部 理学療法学科 281	心理学部 心理学科 888
----	-------------------------	---------------------------------	----------------------------------	--------------------------	------------------------	------------------------------------	---------------------------------	------------------------	---------------------

学科	保健医療学部 理学療法学科 726	保健医療学部 作業療法学科 516	保健医療学部 言語聴覚学科 204	学年	1年次 2307	2年次 2285	3年次 1083	4年次 233
----	-------------------------	-------------------------	-------------------------	----	-------------	-------------	-------------	------------

設問No	設問文	1	2	3	4	5	*全平均
		そう思う	やや そう思う	どちらでも ない	あまりそう 思わない	そう 思わない	

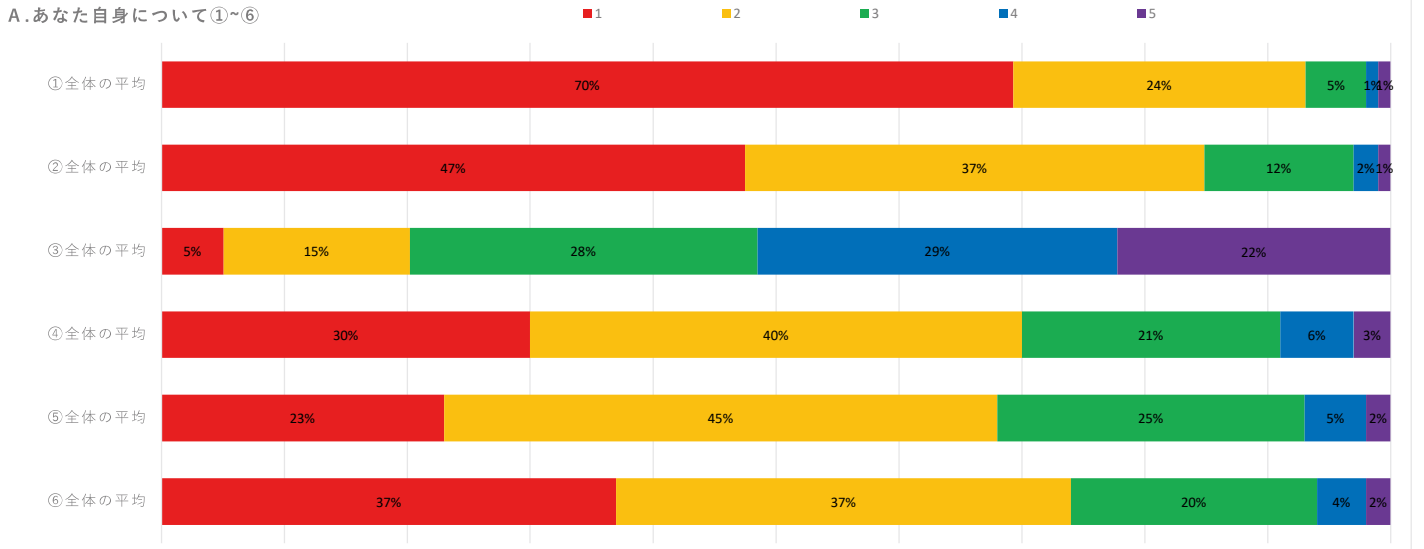
A.あなた自身について

設問	設問文	1	2	3	4	5	*全平均
①	この授業への出席割合は 1.毎回 2.ほとんど 3.3分の2ぐらい 4.半分ぐらい 5.半分未満	4129	1395	280	48	46	4.61
②	授業に積極的に参加した	2770	2205	721	136	49	4.28
③	この授業1回あたりで予習や復習に費やした時間は 1.2時間以上 2.1時間以上~2時間未満 3.30分以上~1時間未満 4.30分未満 5.全くしていない	316	902	1650	1706	1312	2.52
④	授業を受けて、関連領域をさらに深く勉強したくなった	1750	2377	1228	339	184	3.88
⑤	シラバスで掲げられている到達目標を達成できそうだ	1349	2627	1492	284	133	3.81
⑥	この授業全般についてあなたは 1.満足である 2.やや満足である 3.どちらでもない 4.やや不満である 5.不満である	2193	2149	1158	260	118	4.03

B.授業や教員の教え方について

設問	設問文	1	2	3	4	5	*全平均
⑦	学生が集中しやすい授業だった	2450	2041	1004	254	141	4.09
⑧	授業は質問や意見などを発言しやすい様子であった	1764	1715	1616	501	288	3.71
⑨	学生の理解度を確認しながら授業が行われていた	1866	2025	1340	413	241	3.83
⑩	授業の学習目標を学生に伝えていた	2325	2075	1138	226	125	4.06

A.あなた自身について①~⑥



B.授業や教員の教え方について⑦~⑩

